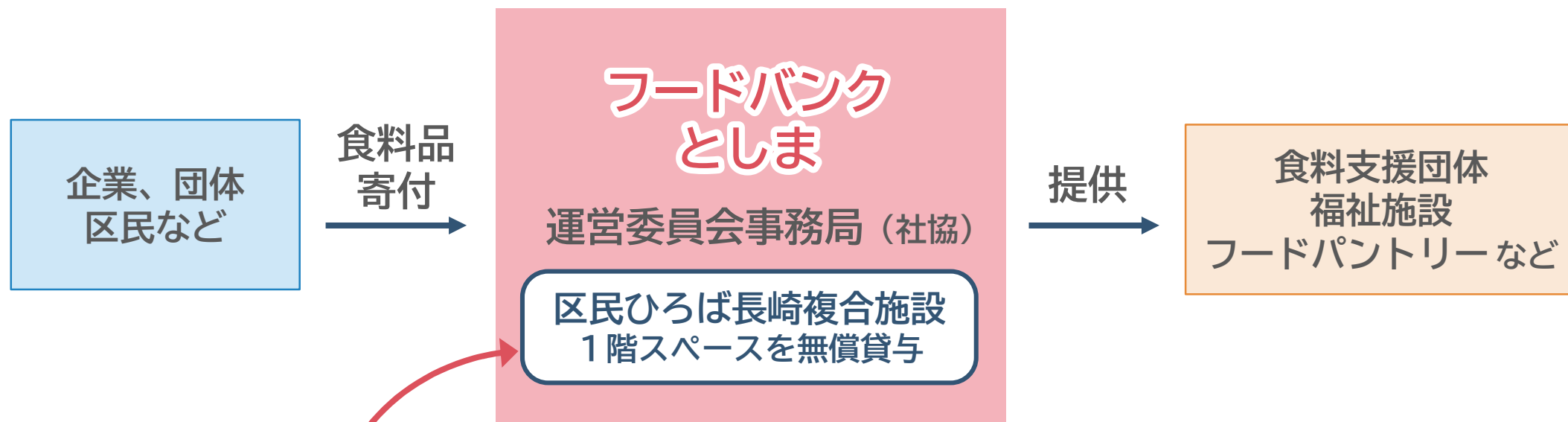


区民・地域団体等による “食”のセーフティネット 6月9日本格始動



区の役割

拠点スペース提供・広報など
地域に根ざした自主運営をサポート

食の支援を「入り口」として孤立を防ぎ、
個別ニーズを支援へとつなぐ
重層的支援を進めます

令和7年11月
食料支援団体に対して政府備蓄米を配付

▶ フードバンク拠点スキームの運用開始

保管場所 の課題

寄付の申し出をいただいたけれど、保管する場所がなく受け取れない

食料確保 の課題

配付したくても食料の確保が難しい。どう寄付を募ればよいかわからない

配付方法 の課題

受け取ったものを大量には配り切れない



フードバンクとしまで解決

保管場所

▶ 区の子カラで解決

場の提供



区民ひろば長崎複合施設
1階スペース

食料確保

配付方法

▶ 民間団体のチカラで解決

子ども食堂、食料支援団体など

- ・ 集まった食料を必要に応じて分配
- ・ 協力の呼びかけ
- ・ 広報協力



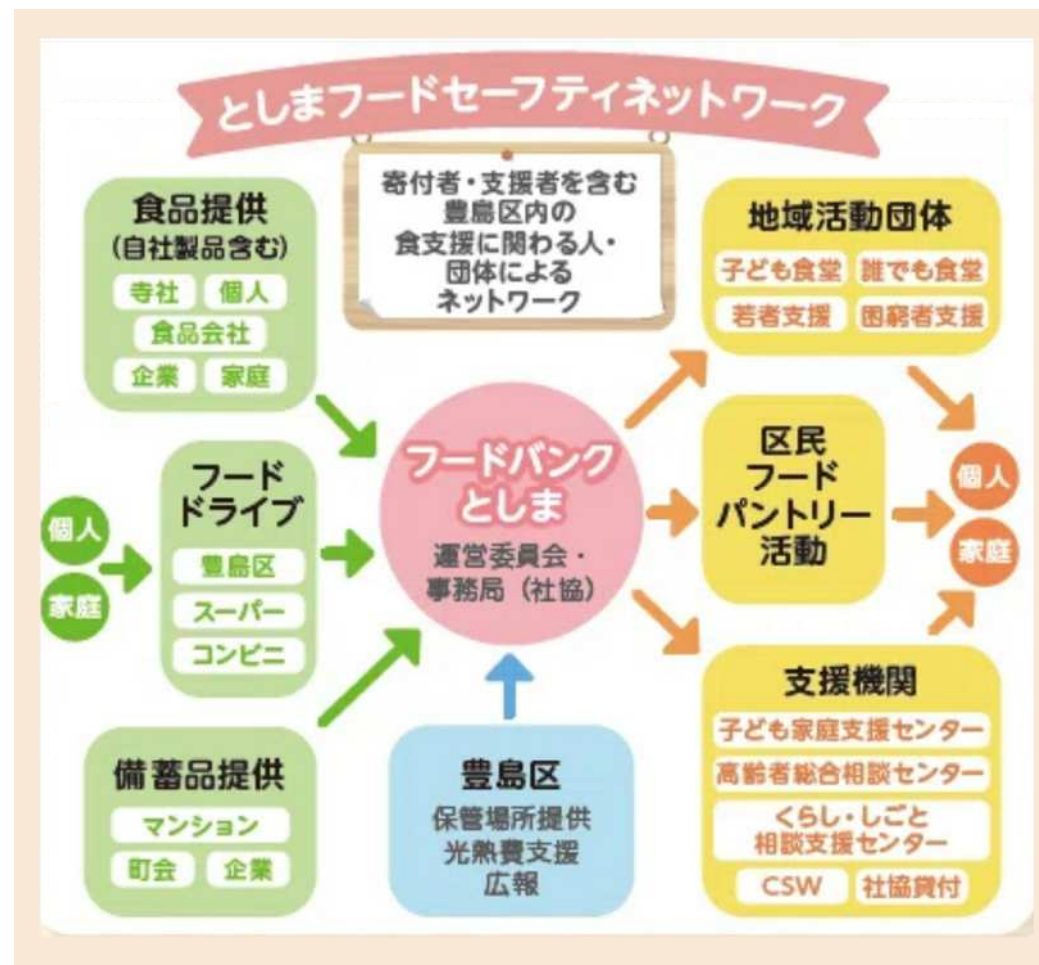
事務局：豊島区民社会福祉協議会

▶ やり取りの中で**困りごとの芽を拾い、各種支援へつなぐ**

運営委員会を中心として、 「としまフードセーフティネットワーク」の輪を広げる

運営委員会メンバーの民間支援団体

- ・ 認定NPO法人
豊島子どもWAKUWAKUネットワーク
- ・ NPO法人TENOHASI
- ・ 食料支援に関わる区民ボランティア



地域の支援団体、企業、学校などに、運営委員会への参加を広く呼びかけ